

令和5年度土砂災害対応訓練を実施しました

令和5年11月6日(月)、管内の佐藤砂利砕石株式会社様ご協力の下、土砂災害対応訓練を実施しました。

台風や集中豪雨による土砂災害に備え、要救助者の救出方法、資器材取扱いの習熟等、救助技術の向上を目的として訓練を実施しました。今回の訓練では訓練人形を要救助者として「周囲掘りによる救出」「4面土留め板による救出」の2種類の救出方法の確認を行いました。

訓練実施にあたりご協力いただいた関係者の皆様ありがとうございました。伊達地方消防組合では今後も、様々な災害を想定し訓練を実施することで、安全、確実、迅速な活動を行えるよう技術の向上を図っていきます。



【周囲掘りによる救出訓練】

要救助者の周囲を手掘りにて掘削し、掘削作業で出た土砂をスコップを使い土砂を排出する救出方法になります。

※要救助者は土圧（土による圧力）で呼吸が抑制されているため、一刻も早く要救助者の周囲の土砂を排除する必要があります。

【4面土留め板による救出訓練】

四方を土留め板と呼ばれる板で囲うことにより要救助者にかかる土圧を軽減するとともに土砂の再流入を防ぎながら、土砂を排出する救出方法です。

